

各取締役・監査役の専門性

取締役会は、業務執行に精通した社内役員と、客観的な立場から経営を監督する社外役員から構成されております。

当行は、「新たな金融の付加価値を創造し、社会の発展に貢献する」ことを経営理念とし、ESG や DEI(※)等のサステナビリティの観点も踏まえ、社会の課題解決を図ることを通じて、持続的成長と中長期的な企業価値向上を目指しています。その実現のために、取締役および監査役に求められるスキルとして、金融機関経営の根幹となる「企業経営」、「財務会計」、「法務・コンプライアンス/リスク管理」、「金融」、「人的資本」に関する豊富な知見に加え、より高い専門性が必要とされる「グローバル」、「IT/デジタル」を掲げております。

求められるスキル		定義	選定理由
監督機能	企業経営	企業のトップ等組織のマネジメント経験	当行が持続的な成長と中長期的な企業価値向上を実現するためには、経営者経験により培われた組織運営に関する知見・洞察力が必要と考えるため
	財務会計	財務戦略、財務報告（会計・税務）に関する専門的な知識・経験	当行が財務の健全性を確保しつつ適切な資本政策を実施し、持続的な成長を実現するため
	法務コンプライアンス/リスク管理	法令・内部統制・リスク管理における広範かつ専門的な知識・経験	当行が公正かつ健全な業務運営を継続していくため
当行独自の重点分野	金融	伝統的な金融ビジネスに関する知見・能力に加え、新分野を開拓し新たな金融の付加価値を創造できる能力	当行の得意分野であるストラクチャードファイナンスを中心とした投資銀行ビジネスなどを通じ、新たな金融の付加価値を創造し、社会の発展に貢献し続けるため
	グローバル	グローバルな視点での事業展開、市場運用に関する知見・能力	当行が、海外のビジネスモデルを参考に、新サービスを展開するために、グローバル視点での価値創造につながる活動が必要と考えるため
	人的資本	人材育成、組織開発に関する知見を持ち、経営戦略と連動した人材戦略・人的資本投資を遂行する経験・能力	当行は、価値創造の源泉は「人材」との認識の下、経営戦略の一つとして人材戦略をとらえ、人的資本を重視しているため
	IT/デジタル	IT・デジタル分野の理解ならびにビジネスを変革する能力、同分野での業務経験	当行は、IT/デジタル分野を業務と顧客サービスの基盤であるとともに、課題解決に貢献する重要な手段と考えているため

(※) Diversity（多様性）、Equity（公平性）、Inclusion（包摂性）を指し、組織や社会の成長に不可欠な要素と言われる。

役職 氏名	社内 社外	取締役・監督機能の専門性						
		監督機能			当行独自の重点分野			
		企業経営	財務会計	法務・ コンプライアンス/ リスク管理	金融	グローバル	人的資本	IT/ デジタル
取締役会長 山越 康司	社内	○			○	○		
代表取締役社長 チーフ・エグゼクティブ・オフィサー 大見 秀人	社内	○			○	○		○
代表取締役副社長 小原 正好	社内	○		○	○	○	○	
取締役専務執行役員 加藤 尚	社内		○		○	○		
取締役 橋・フクシマ・咲江	社外	○				○	○	
取締役 高橋 秀行	社外	○	○	○	○			○
取締役 齋藤 英明	社外	○			○	○		○
取締役 多田野 宏一	社外	○				○		
取締役 川島 博政	社外			○	○		○	
常勤監査役 橋口 悟志	社内			○	○	○		
監査役 井上 寅喜	社外	○	○	○		○		
監査役 前田 純一	社外	○		○	○		○	

※各人が有する全ての知見を表すものではありません。